

# ClariMate

## Silent practice, digital play

### ユーザーマニュアル



日本語版

v-3.4.1

〈ビュッフェ・クランポン〉“ClariMate”（クラリメイト）  
をご購入いただき誠にありがとうございます。

このマニュアルでは、多機能デジタルミュートとしての  
“ClariMate” の使用方法と、クラリネットをデジタル  
音楽の世界につなげるための情報を記載しています。

# 目次

“ClariMate” について . . . . .	1
本体および付属品一覧 . . . . .	1
各ボタンと LED ランプの機能 . . . . .	1
はじめに . . . . .	2
本体の充電 . . . . .	2
組み立て . . . . .	2
ClariMate アプリケーション . . . . .	2
ファームウェアのアップデート . . . . .	2
音の認識 (トレーニングセット) . . . . .	3
ClariMate を使用した吹奏感とブレスセンサー感度の調整 . . . . .	3
アクティブリード (ベータ版) . . . . .	3
スタンドアロン、USB、および Bluetooth モード . . . . .	4
スタンドアロンモード . . . . .	4
USB モード . . . . .	4
Bluetooth モード . . . . .	4
音名の表示 . . . . .	5
トレーニングセット . . . . .	6
シンセサイザーのパラメータ . . . . .	8
ブレスとリードのパラメータ . . . . .	9
MIDI コントローラ機能 . . . . .	10
ClariMate を MIDI コントローラとして使用する . . . . .	11
クリーニングの方法と注意点 . . . . .	11
トラブルシューティングとサポート . . . . .	11
技術仕様 . . . . .	13
ClariMate の安全性および規制に関する重要情報 . . . . .	13

# “ClariMate” について

ClariMate は、Buffet Crampon 社と Audio Inventions 社が共同設計を行なったリバーシブルハイブリッド機器で、クラリネットをデジタルの世界につなぎます。ClariMate をクラリネットに装着することにより、デジタルミュートとして（外部には音が聞こえない状態で）の練習を可能にするほか、クラリネットを使ってデジタル音楽の制作ができるようになります。

ClariMate には高精度センサおよび特許取得済みの音認識技術が搭載されており、奏者のアンブシュアの状態やブレス、および運指をデジタル信号へと変換します。有線ヘッドフォンを ClariMate に接続すると、独自のバーチャル・クラリネット・シンセサイザー機能により、外部には音が聞こえない状態で演奏することができます。また、ClariMate をコンピュータやタブレット、あるいはスマートフォンに接続すると、ClariMate を MIDI コントローラとして使用し、デジタル音楽制作の可能性を広げることができます。

## 動作の仕組み

ClariMate に搭載されている高精度センサが、奏者のアンブシュアの状態およびブレスのコントロールをデジタル信号へと変換します。運指は、ClariMate が発するブーンという柔らかい連続音（ClariMate の信号音）である特許取得済みの聴覚刺激技術を用いて検知されます。ClariMate はこの聴覚刺激を常に測定する必要があるため、ClariMate の信号音認識を妨げるような大きな音が発される環境下やアンプとの併用では ClariMate は機能しません。

ClariMate はコンピュータやスマートフォン、タブレットがなくてもスタンドアロンモードでお使いいただけますが、はじめてご使用いただく際には、まず ClariMate アプリケーションに接続し、ご自身の楽器に合わせて音検出のための設定（トレーニングセット）を行うことをおすすめします。なお、急激な温度変化がある場合、ClariMate は機能を十分に発揮できないため、室温環境でご使用ください。

## 本体および付属品一覧

- ClariMate 本体
- ケース
- USB A to C ケーブル
- アクティブリード 2 個
- ブレスチューブ
- ブレス調整用プラグ (3 個 / 直径 2mm, 3mm, 4mm)
- 交換用 O リング 3 個

## 各ボタンと LED ランプの機能



ボタン 1 を押すと ClariMate が**スタンドアロンモード**で起動します。再度押すと電源が切れます。

ボタン 3 を押した状態でボタン 1 を押すと、**Bluetooth モード**で起動します。このとき、ランプが青く点灯します。

ボタン 4 を押した状態でボタン 1 を押すと、**USB モード**で起動します。このとき、ランプがオレンジ色に点灯します。

ボタン 3 および 4 を押した状態でボタン 1 を同時に押すと、**セーフモード**で起動します。このとき、ランプが黄色に点灯します。

ボタン 3 および 4 を押すと、**ボリューム**を調整できます。

**注:** 起動中は、ClariMate の信号音（聴覚刺激のブーンという柔らかい音）が聴こえるまで ClariMate を吹かないでください。起動中に息を入れると、ブレスセンサーの調整プロセスが妨げられるおそれがあります。

# はじめに

## 本体の充電

はじめて ClariMate をお使いになる前に、付属の USB ケーブルを使用して最大 8 時間充電してください。

**重要:** ClariMate は、高速充電には対応していません。付属の USB ケーブル以外を使用した場合、ユニットを損傷し保証の対象外となります。

## 組み立て

1. ブレスチューブの端が黒色の側を、ClariMate 本体のブレスチューブ差し込み口に取り付けます。
2. チューブの端が灰色の側を組み立て済みのクラリネットのバレル上部に挿入した後、ClariMate のねじ部分をしっかりと回してクラリネットのバレルに取り付けます。
3. お手持ちのリガチャーを使用して、同梱のアクティブリードをマウスピースに取り付けます。
4. マウスピースを ClariMate のバレルに挿入します。
5. ブレスチューブの端に同梱のプラグのいずれかを挿し込むことで、空気抵抗を大きくすることができます。「D2」と書かれたプラグは抵抗が最も大きく、「D4」と書かれたプラグは抵抗が最も小さくなります。  
※ブレス調整用プラグの使用は必須ではありません。吹奏感のお好みに応じてご使用ください。

## ClariMate アプリケーション

ClariMate は、ClariMate 専用のアプリケーションによって、お使いのクラリネットに合わせた調整やお好みに合わせた設定変更を行うことができます。アプリケーションは Windows、MacOS、iOS、Android スマートフォンおよびタブレットでお使いいただけます。Windows および MacOS バージョンにつきましては、Bluetooth または USB を介してアプリケーションに接続可能です。アプリケーションはウェブサイトよりダウンロードできます。  
<https://clarimate.jp/support/> (日本)

必要環境：Windows 10、MacOS 11、iOS 14、Android 8.1

## ファームウェアのアップデート

ClariMate は、常に最新のファームウェアでご使用ください。アップデートの方法：最新のファームウェアがリリースされている場合、ClariMate を USB モードで接続し、Windows または MacOS の ClariMate アプリケーションを立ち上げます。アップデートのポップアップが表示されますので、案内に従いダウンロードをお願いいたします。

Windows または MacOS 向け ClariMate アプリケーションのダウンロード後、次の手順に従ってアップデートを行います。

1. 付属の USB ケーブルを用いて ClariMate をコンピュータに接続します。
2. ClariMate を USB モードで立ち上げます (左上のボタン 4 を押したまま電源ボタン 1)。  
左上のランプがオレンジ色に点灯していれば、ClariMate は USB モードで起動しています。
3. コンピュータ上で ClariMate アプリケーションを立ち上げ、アプリケーションが ClariMate と接続を完了するまでお待ちください。接続済になると、ClariMate のオレンジ色のランプがゆっくりと点滅を始め、ClariMate アプリケーションの左下隅に「接続済」と表示されランプが明るい緑色になります。
4. 古いファームウェアで ClariMate の接続を行っている場合、アップデートのポップアップが表示されます。案内に従いダウンロードしてください。最新のアップデート内容にトレーニングセットの最新版が含まれている場合、最新の工場出荷版にアップデートするか、現在のトレーニングセットを使い続けるかをお選びいただけます。ClariMate のセットアップを初めて行う場合は、新しいトレーニングセットをインストールすることをおすすめします。
5. ファームウェアアップデートの一環としてトレーニングセットのアップデートを行うことを選択した場合は、現在のトレーニングセットを保存するか確認ポップアップが表示されます。ここで保存したデータは常にバックアップが作成され、トレーニングセットの管理ページより、いつでも読み込むことができます。

ファームウェアをアップデートしない場合も、ツールメニューよりいつでもアップデートをすることができます。

## 音の認識 (トレーニングセット)

クラリネットはモデルやセッティングにより、管体の長さが異なるため、ご自身の楽器に合わせた設定が必要となります。この設定をトレーニングセットと呼びます。ClariMate の工場出荷時のファームウェアでは現代の多くのクラリネットに対応していますが、ご自身の楽器でトレーニングセットを行うことで音の認識度を向上させることができます。練習の中で反応速度や音の認識の問題が発生した場合は、ClariMate アプリケーションを用いて特定の音のトレーニングセットを行うことで認識度を改善することができます。詳細は、「ClariMate アプリケーション」の章に記載の「音のトレーニングタブ」をご覧ください。

## ClariMate を使用した吹奏感とブレスセンサー感度の調整

ClariMate は、奏者がクラリネットを演奏するときの吹奏感に近い形で使用できることを考慮して設計されました。クラリネット奏者はさまざまなマウスピースとリードを組み合わせて使用するため、空気抵抗のレベルは各々の奏者によって異なります。通常の吹奏感の再現のために、2 種類の方法で ClariMate を調整することができます。1 つ目は、「ブレスとリードのパラメータ」タブにあるブレスセンサーの感度の設定です。2 つ目は、付属の 3 種類のブレス調整用プラグをブレスチューブに押し込むことにより、空気抵抗を変化させることができます。「ブレスセンサー感度」ダイヤルの詳細につきましては、「ClariMate アプリケーション」の章に記載の「ブレスとリードのパラメータ」タブをご覧ください。

これら 2 つの可変設定を組み合わせることで普段の吹奏感に近い状態で演奏することができます。以下は、ブレスセンサーの感度とブレス調整用プラグを使用した時の吹奏感の例です。

### 吹きやすく、反応の良い設定にする場合：

プラグ：なし  
ブレス感度：100

### 抵抗を大きくし、反応の良い設定にする場合：

プラグ：D2  
ブレス感度：100

### 吹きやすく、多くの息を必要とする設定にする場合：

プラグ：なし  
ブレス感度：50

### 抵抗を大きくし、多くの息を必要とする設定にする場合：

プラグ：D2  
ブレス感度：50

## アクティブリード (ベータ版)

ClariMate には専用のアクティブリードが付属されています。アクティブリードを使うことで、ClariMate に内蔵されたシンセサイザーのピッチを細かく制御するほか、MIDI を介してピッチ・ベンド・メッセージを送信することができます。ClariMate のすべての機能を使用する場合にはアクティブリードを使用することをおすすめしますが、この機能が不要な場合はアクティブリードの代わりにケーン製または合成樹脂リードをお使いいただくことができます。しかし ClariMate の音認識にはケーン製または合成樹脂リードの振動がブレスセンサーや音の認識を妨げるため、うまく音を認識しない場合があります。リードの振動を少なくするため、マウスピースのティップレールから通常よりもはなしてリードを取り付けることで防ぐことができます。

アクティブリードを適切に機能させるために、リードとマウスピース間の開閉位置の測定をする必要があります。これは、ClariMate アプリケーションの「ブレスとリードのパラメータ」タブで行うことができます。アクティブリードの調整は、マウスピースにアクティブリードを取り付けるたびに行なってください。

閉位置の調整は次の 2 つの方法で行うことができます。

**初級～中級奏者の場合:** 親指でリードの先端を押し、マウスピースに当てます。

**中級～上級奏者の場合:** マウスピースをくわえ、音やイントネーションが最適な状態で演奏している時のようにアンブシュアをつくりま。

開位置の調整は、リードの先端から親指を離すか、口からマウスピースを離すことで行うことができます。

**ヒント:** ClariMate のアクティブリードにはセンサ用の鏡が取り付けられています。アクティブリードの調整を行う前に数分間演奏して楽器に息を入れると、ClariMate の光学センサが結露し、アクティブリードを使用した際の認識度が上がります。

**ヒント:** アクティブリードの代わりにケーン製または合成樹脂リードをお使いになる場合は、必ずアプリケーション上でアクティブリード機能をオフにしてください。音程が外れることを防止します。詳細は、「ClariMate アプリケーション」の章に記載の「ブレスとリードのパラメータ」タブをご覧ください。

**ヒント:** アクティブリードを機能させるために、ハードラバー製のマウスピースをご使用ください。メタルやクリスタル素材のマウスピースは、アクティブリードに付属している鏡が光の反射を正常に認識できないため、ご使用いただけません。

## スタンドアロン、USB、および Bluetooth モード

ClariMate にはスタンドアロン、USB、Bluetooth と 3 つの動作モードがあります。 ClariMate を各モードに切り替える際には、ClariMate の電源を切る必要があります。詳細は、「はじめに」の章に記載の「各ボタンとランプの機能」をご覧ください。

### スタンドアロンモード

スタンドアロンモードでは、USB ケーブルや PC やタブレットなどのデバイスを使用せずに ClariMate を演奏することができます。ClariMate をはじめて使用する場合は、まず USB モードもしくは Bluetooth モードで「トレーニングセット」を行ない、その後スタンドアロンモードでお使いになることをおすすめします。

※ USB モードや Bluetooth モードで適用した設定は、スタンドアロンモードの ClariMate にも引き継がれます。

### USB モード

USB モードでは、付属の USB ケーブルを用いて ClariMate を Windows または MacOS コンピュータ上の ClariMate アプリケーションに接続することができます。ClariMate の設定変更や吹奏感のお好みに合わせたカスタマイズ、ならびに ClariMate を MIDI コントローラとして使用する際は、USB モードで ClariMate をお使いください。ファームウェアのアップデートは、USB モードで行う必要があります。

### Bluetooth モード

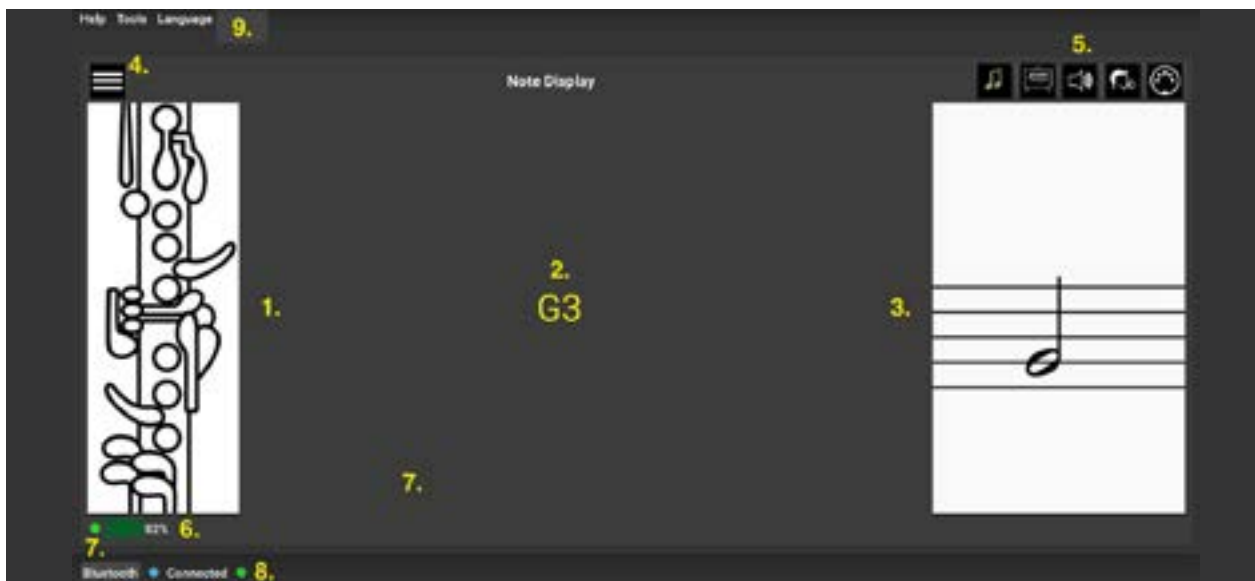
Bluetooth モードでは、ClariMate を iOS、Android、MacOS、または Windows デバイス上の ClariMate アプリケーションに接続することができます。ClariMate の設定変更や吹奏感をお好みに合わせてカスタマイズすることができるほか、ClariMate を iOS、MacOS、および Windows で MIDI コントローラとして使用可能です。はじめて Bluetooth モードを使用する際は、まずお使いのデバイスの Bluetooth 設定を用いて ClariMate とデバイスのペアリングを行なったあと、ClariMate アプリケーションとの接続をしてください。

Bluetooth モードでは、プレイアロング機能を使用し、お気に入りの音源に合わせて演奏をすることができます。お使いのデバイスから ClariMate へ音声をストリーミング配信することで、ヘッドフォンで ClariMate の音と並行して別の音源を聴くことができます。

ClariMate は Bluetooth で音声を受信することができますが、内蔵シンセサイザーから Bluetooth で音声を送信することはできません。ClariMate を Bluetooth ヘッドフォンやスピーカーと併用することはできません。



## 音名の表示



1. 演奏中の運指が表示されます。(実際に使用した運指と表示が異なる場合があります)
2. 音名と認識度が色で表示されます。
  - 緑：優一音の認識度は 99% 以上です。
  - 黄：良一音の認識度は 97% 以上です。
  - 赤：不良一音の認識度は 97% 未満です。再調整 (トレーニング) をおすすめします。
3. 演奏されている音が高音部譜表で表示されます。
4. このメニューから以下の項目にアクセスできます。
  - 音域**: ClariMate では運指範囲を標準で E2-G5 に設定していますが、上級者向けに C6 まで拡張することができます。C6 まで拡張する場合は、全音域のトレーニングセットを行う必要があります。  
**※音域は国際式で表記されています。**
  - 電源オプション**: ClariMate の自動電源オフを設定できます。
  - 工場出荷の状態に戻る**: ClariMate を初期設定に戻し、工場出荷時のトレーニングセットを再インストールできます。
5. アプリケーションの各種タブにアクセスできます。現在アクセス中のタブは金色で強調表示されます。
6. ClariMate のバッテリー残量と充電ステータスを表示します。
7. ClariMate を Bluetooth モードに設定し、お使いのデバイスと ClariMate をペアリングしたあとに Bluetooth ボタンを押すと、Bluetooth を介して ClariMate をアプリケーションに接続することができます。
8. 「Connected (接続済)」の横に表示されるランプは、ClariMate の接続状態を示します。
  - 緑：USB で接続
  - 青：Bluetooth で接続
  - 濃い緑または赤：未接続
9. このツールバーより、以下のボタンにアクセスできます (iOS および Android バージョンの ClariMate アプリケーションでは、ボタンはメニューアイコンにありますのでご注意ください)。
  - ヘルプ**: **バージョン情報**: 現在のアプリケーションおよびファームウェアのバージョンに関する情報
  - Qt の情報**: ClariMate アプリケーションの作成に用いられたツールキットの情報
  - マニュアルを読む**: ウェブブラウザでマニュアルやチュートリアル等をまとめたウェブサイトを表示します。
  - ツール**: **ファームウェアの更新**: 利用可能な最新のファームウェアにアップデート、もしくは旧バージョンのファームウェアを復元します。
  - ローカルディレクトリからのファームウェアアップデート**: ローカルで利用可能なファームウェアを検索するためのファイル・ブラウザが開きます。



**アプリケーションのアップデート:** ClariMate アプリケーションを最新バージョンにアップデートします (Windows のみ)。

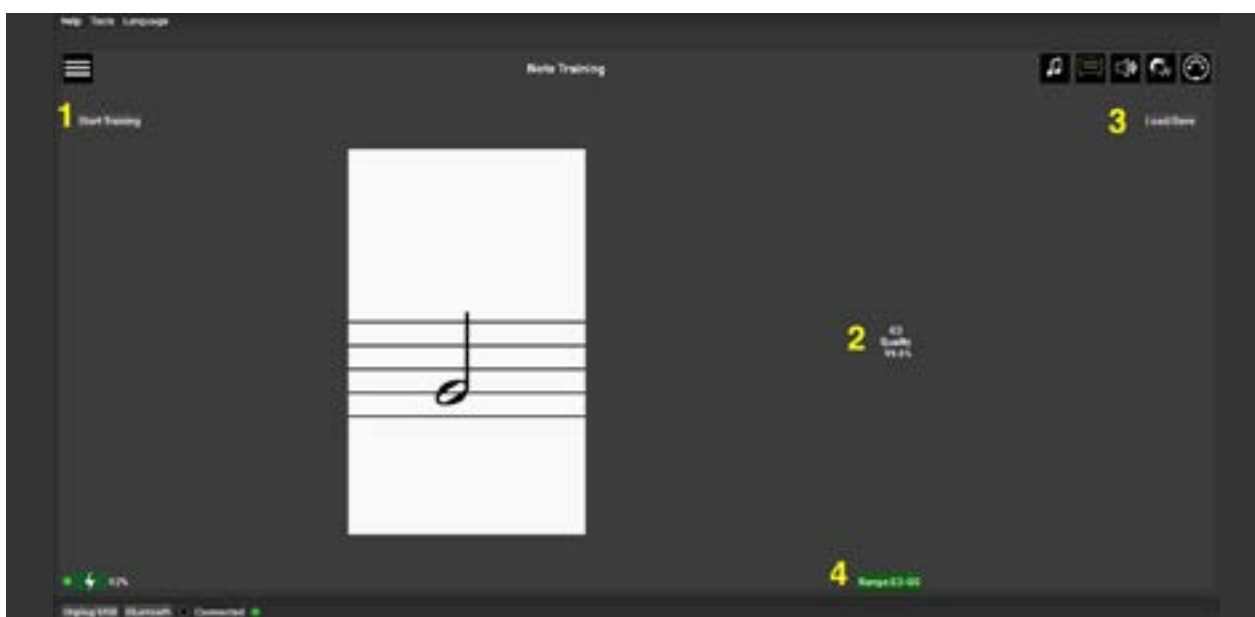
**言語:** ClariMate アプリケーションの言語を次の言語に設定します。(英語、仏語、スペイン語、ドイツ語、日本語、中国語)

## トレーニングセット

「トレーニングセット」タブでは、ClariMate に使用するトレーニングセット (音認識機能の設定) の読み込みや変更を行うことができます。トレーニングセットは、ClariMate が用いる音の認識技術の重要な要素です。クラリネットのキーに指を置くと ClariMate は信号音受信とトレーニングセットにより演奏中の音を判定します。

内蔵されている工場出荷時のトレーニングセットは多くのクラリネットに対応していますが、早いパッセージで音を認識しないなど問題が発生した場合は、ご自身の楽器用のトレーニングセットを作成することをおすすめします。

ClariMate の追加設定 (音量、ブレスセンサーの感度、移調、MIDI 設定など) は全てトレーニングセットの一部として保存されますのでご注意ください。



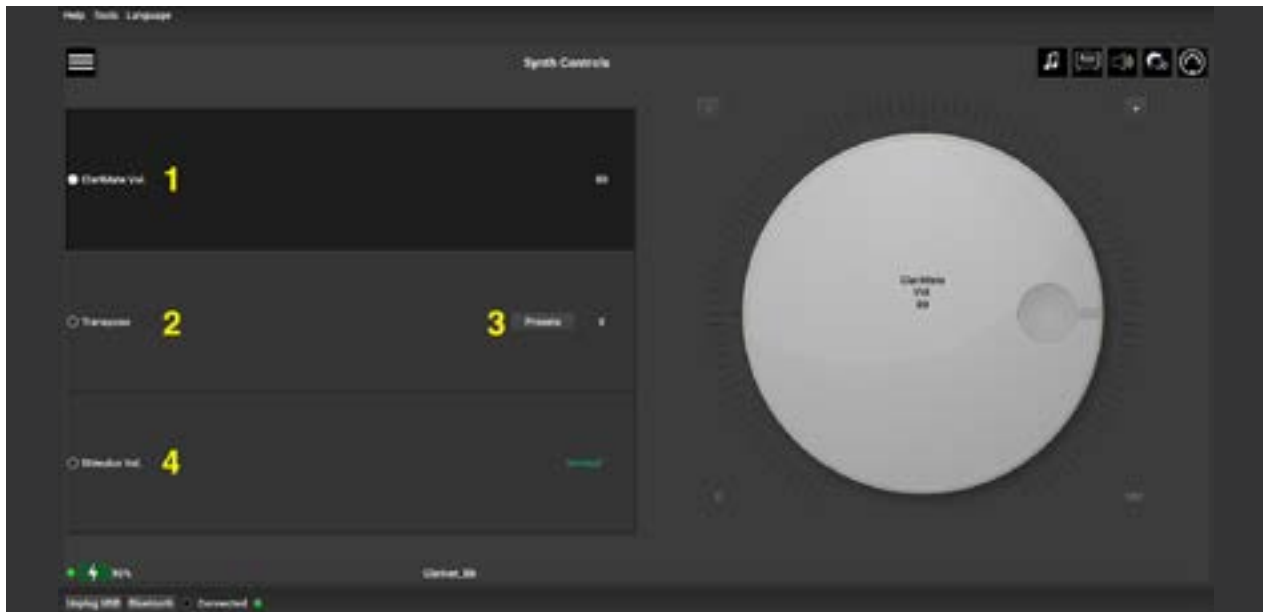
1. 「トレーニングセット開始」 ボタンを押すと、トレーニングセット画面 (下の画面) に進み、トレーニングセットの変更や作成を行うことができます。
2. 現在演奏している ClariMate の音の認識度が表示されます。99% 以上が優、97% 以上が良です。音の認識度が 97% 未満の場合は音の再トレーニングをおすすめします。

3. 「トレーニングセットの管理」画面に移行します。この画面では、保存済みのトレーニングセットの読み込みや不要なトレーニングセットを削除することができます。
4. 現在読み込まれているトレーニングセットの音域が表示されます。
5. 選択中の音に対して行うことのできる運指の一つが表示されます。
6. このランプは、運指をトレーニングするために息を入れると赤く点灯します。**赤いランプが消えるまで指を動かさないでください。**
7. ダイアルをまわし、トレーニングを行う音を選択することができます。ダイアルの左右にある+/-ボタンもお使いいただけます。
8. トレーニングセット終了後、「トレーニングセット終了」ボタンを押すと、作成したファイルの保存を行いません。一部の音のトレーニングセットを行なった場合、既存のトレーニングセットのファイルに上書き保存することができます。ファイル保存後は、「音名の表示」タブに戻ってください。

トレーニングセットの作成と変更は、次の手順で行います。

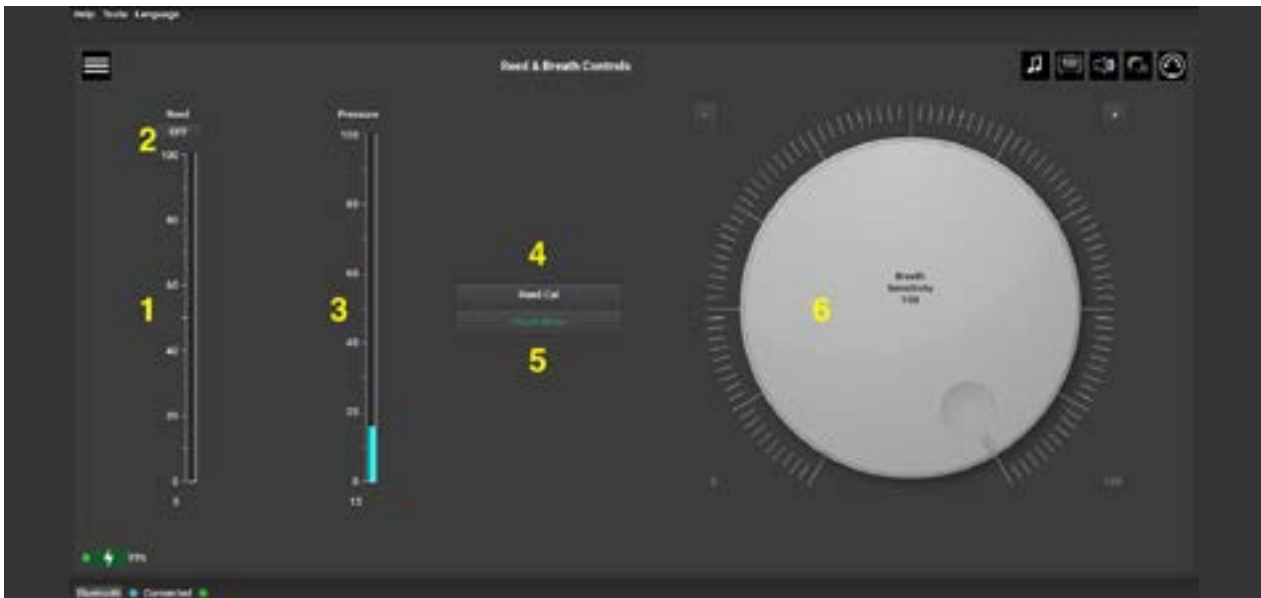
1. ClariMate を USB モードか Bluetooth モードで ClariMate アプリケーションに接続します。
2. トレーニングセットタブへ進みます。
3. アプリケーション左上の「トレーニングセット開始」をクリックまたはタップします。
4. ダイアルか +/- ボタンを用いて、トレーニングを行ないたい音を選択します。
5. 選択した音の運指を取り、短く息を入れる形でマウスピースに息を吹き込み、ClariMate のブレスセンサーが調整をはじめます。アプリケーション上の赤いランプが消えてヘッドフォンから聞こえる音が止まるまでは指を動かさないでください。
6. 赤いランプが消えると、自動的に半音階上の次の音のトレーニングに移ります。手順 4 および 5 を繰り返すことで、その他の音のトレーニングを行うことができます。
7. トレーニングセット完了後、画面左側の「トレーニング終了」をクリックまたはタップします。これにより以前のトレーニングセットに上書きする形で新しいトレーニングセットが ClariMate に自動保存されます。
8. 作成したトレーニングセットのコピーをアプリケーションに保存すると、同じトレーニングセットをいつでも再度読み込むことができるため、保存することをおすすめします。ファイルの名称は自動的に日付と時間が付与されますが、クラリネットのモデルなどの名称をつけることも可能です。
9. トレーニングセットがアプリケーションに保存され ClariMate の信号音が聞こえてくると、音の表示タブに戻り演奏を再開することができます。
10. 音の認識度は、「トレーニングセット」タブよりいつでもご覧いただけます。品質値は 98% 以上であることが理想です。

## シンセサイザーのパラメータ



1. 右のダイヤルまたは+/-ボタンで ClariMate のボリュームを設定することができます。
2. 「移調」では、右のダイヤルまたは+/-ボタンで ClariMate の調性を設定することができます。調性を選択したら、「読み込み」をクリックして確定します。ClariMate は最大1分程度で調性の読み込みを完了します。尚、MIDI 音には影響を及ぼしません（詳細につきましては下の MIDI タブをご覧ください）。
3. ClariMate にはプリセットとして5つの調性 (Bb/A/C/Eb/Bass) が登録されています。初期設定は、Bb クラリネットです。
4. ClariMate の音の認識技術の重要な要素である信号音のレベルを設定することができます。周囲に音がある環境で ClariMate を使用する際には「強い」を選択してください。また、静かな環境では「弱い」に設定することも可能です。

## ブレスとリードのパラメータ



1. アクティブリードの機能が「オン」になっている場合、このゲージはリードとマウスピース間の開きのレベルを示します。全開の場合はゲージが 100 となり、完全に閉じた場合は 0 となります。ClariMate は 0 ～ 10 の音で演奏を行います。
2. リード機能の「オン」「オフ」の切り替えを行ないます。「オフ」が選択されている場合、演奏者のアンブシュアの状態を反映させずに演奏を行います。
3. 息圧の状態を示します。ClariMate で音を出すには水色のしきい値を越えるように息を入れて吹く必要があります。
4. アクティブリード機能の調整を行ないます。ポップアップに従ってリードの開きレベルの調整を行ないます。詳細につきましては、上の「リードの調整」をご覧ください。
5. 「奏者の吹き込み」と「自動吹き込み」の間で切り替えを行います。標準機能は奏者の吹き込みによる演奏ですが、自動吹き込みを選択すると奏者が息を入れることなく運指に合わせて ClariMate から音が生成されます。
6. ダイヤルまたは+/-ボタンを用いてブレスセンサー感度を調整します。このパラメータの調整中は**絶対に息を入れないでください**。設定値が小さいほど、奏者は音を出すためにより多くの息を吹き込む必要があります。

## MIDI コントローラ機能

ClariMate アプリケーションを開くと、「ClariMate MIDI アウト」と呼ばれる仮想 MIDI ポートが自動的に作成されます。これにより、ClariMate を仮想シンセサイザーや DAW（デジタル・オーディオ・ワークステーション）などの音楽制作アプリケーションへの MIDI 入力のほか、アプリケーション制御にも使うことができます。詳細につきましては、「ClariMate を MIDI コントローラとして使用する」をご覧ください。※このタブは Android デバイスでは現在お使いいただけません。



1. ClariMate のブレスセンサーで送信する MIDI CC メッセージの種類を選択できます。種類:CC2 (ブレス)、CC7 (ボリューム)、CC11 (エクスプレッション) ※初期設定は CC11 です。
2. 音の強弱を制御するベロシティの設定ができます。コンスタント・ベロシティでは、全ての音を定値 80 の MIDI ベロシティで送信しますが、ダイナミック・ベロシティでは、演奏時の息の圧力レベルに基づいた MIDI ベロシティが送信されます。
3. ClariMate アプリケーションがメッセージを送信する MIDI チャンネルを選択します。1～16の中から選択可能です。
4. 「演奏モード」(初期設定)と「編曲モード」のどちらかをお選びいただけます。演奏モードではノートオンメッセージのあとにノートオフメッセージが送信されるため、レガートをより良く演奏することができます。編曲モードではノートオンメッセージの前にノートオフメッセージが送信されるため、楽譜作成ソフトウェアとの互換性を向上させることができます。
5. 3つのピッチベンドモードを切り替えることができます。クラリネットモードは、アクティブリードの調整設定がされている場合、クラリネットを吹いたときのピッチ感を再現します。MIDI Mate モードは、連携アプリケーションである MIDI Mate で半音程度音を下げることができます。クラシックモードでは、すべての音域でピッチベンドを下げるすることができます。
6. 息圧を見ることができます。
7. 「MIDI 移調」オプションを用いることで、出力される MIDI 音の移調が可能となります。「MIDI 移調」は ClariMate 上の移調は、「シンセサイザーのパラメータ」タブで行うことができます。
8. 音が鳴りっぱなしの場合やその他の MIDI の問題が発生した場合に、送信される全ての MIDI メッセージを消去します。
9. 仮想 MIDI ポートである「ClariMate MIDI アウト」を無効にします。

# ClariMate を MIDI コントローラとして使用する

MIDI は「楽器デジタル・インタフェース」の略語で、デジタル環境で音楽情報を送信する通信プロトコルです。楽譜が音楽家の間で音楽情報を伝えるのに用いられるのと同様に、MIDI はシンセサイザーやサンプラー、コンピュータ、そして ClariMate などの MIDI コントローラの間で音楽情報を伝えるために作られました。ClariMate は次の 4 つの MIDI データを送信します。

**ピッチ:** 演奏している音です。

**ベロシティ:** 音を出力した際の強弱です。MIDI CC メッセージはデジタル管楽器において強弱をコントロールする手段であるため、ClariMate では定値 80 を初期値としています。

**MIDI CC:** コントロールチェンジ (別名 MIDI CC メッセージ) を用いると、ベロシティに関係なく強弱をコントロールすることができ、一つの音の中で crescendo や diminuendo などの表現が可能となります。また、このメッセージを用いてシンセサイザーやサンプラー上で多数のパラメータを動的に変更し、表現のコントロールを無限に行うことができます。ClariMate ではブレスセンサーデータは MIDI CC メッセージを通じて伝達され、どの MIDI CC を用いるかは ClariMate アプリケーションの MIDI タブで選択することができます。

**ピッチバンド:** ビブラートなどのピッチの表現変化を伝達する際に使用します。この情報は ClariMate のアクティブリードが生成しているため、この機能を使用する場合は「ブレスとリードのパラメータ」タブで設定してください。

ClariMate は、MIDI コントローラとして ClariMate アプリケーションの仮想 MIDI ポートを通じて数百におよぶ他の音楽制作アプリケーションと通信を行うことができますが、MIDI Mate 以外の音楽制作アプリケーションにおいては、ClariMate のブレスセンサーの情報すべてを有効活用できない場合があります。MIDI Mate は ClariMate 用に作られた MIDI サンプラーであり、クラリネット、テナーサクソフォン、トランペット、フルート、およびヴィオラの 5 つの楽器の音色を使って演奏することができます。MIDI Mate は、当社ウェブサイト (<https://clarimate.jp/support/>) よりダウンロード可能です。

MIDI Mate は、CC11 で送信されたブレスコントロールデータを使うようにプログラミングされています。ブレスコントロールデータを CC2 または CC7 で設定している場合、MIDI Mate は正しく機能しません。そのほかのアプリケーションを使用する場合は、対応しているコントロールチェンジに合わせて設定をしてください。

## クリーニングの方法と注意点

1. ClariMate の電源をオフにし、USB ケーブルを抜いてください。
2. ブレスチューブを外れるまで軽く引っ張り取り外します。ブレスチューブは取り外した後に水で洗い、自然乾燥させてください。
3. ClariMate 本体は乾いた布で拭いてください。
4. ClariMate のアクティブリードはぬるま湯で優しく洗い、その後自然乾燥させてください。
5. ClariMate 本体のブレスチューブ差込口、またはヘッドフォン内部や充電ポートには水分などの液体が入らないようにしてください。保証の対象外となるおそれがあります。

## トラブルシューティングとサポート

### よくあるご質問

以下はよくあるご質問とその解決方法です。最新の記事とチュートリアル動画は、ClariMate のウェブサイト (<https://clarimate.jp>) でご覧ください。

問題が解決しない場合は、以下までお問い合わせください。

<https://clarimate-japan.freshdesk.com/support/home>



## ClariMate が機能しません。

「よくあるご質問」に記載されていない場合や、問題が解決できない場合は、まず ClariMate のファームウェアを工場出荷の状態に戻すことをおすすめします。これにより ClariMate の現在のトレーニングセットが、工場出荷版に入れ替えられます。トレーニングセットを復元させたい場合は、工場出荷の状態に戻す前に必ず「トレーニングセットの管理」で現在のトレーニングセットを保存してください。工場出荷の状態に戻す手順は下記の通りです。

1. USB モードまたは Bluetooth モードで ClariMate をアプリケーションに接続します。
2. 画面左上隅のメニューアイコンをクリックします。
3. 「工場出荷の状態に戻る」を選択します。

問題がそれでも解決できない場合は、以下の手順でファームウェアを再インストールすることをおすすめします。

1. 必ず最新バージョンの Windows または MacOS 向け ClariMate アプリケーションをご使用ください。App store または当社ウェブサイト (<https://clarimate.jp>) より最新バージョンをダウンロードして ClariMate アプリケーションをアップデートします。
2. 必ず付属の USB ケーブルを用いて ClariMate を 8 時間以上充電を行ってください。
3. USB ケーブルを用いて ClariMate をコンピュータ上の ClariMate アプリケーションに接続します。
4. 左上のツールバーの「ツール」メニューから、その後「ファームウェアの更新」をクリックしてください。

## 充電とアップデートを行っても ClariMate が応答しません。

ClariMate の電源を入れアプリケーションに接続されている状態でも ClariMate から音が出ない場合は、トレーニングセットが ClariMate に読み込まれていないことが原因となっている可能性があります。トレーニングセットを ClariMate に読み込む方法についての詳細は、マニュアル内「ClariMate アプリケーション」の章に記載の「トレーニングセット」をご覧ください。

## ClariMate の電源が入りません、何をすべきでしょうか？

1. 必ず最新バージョンの Windows または MacOS 向け ClariMate アプリケーションをご使用ください。最新バージョンの ClariMate アプリケーションは App store または当社ウェブサイト (<https://clarimate.jp>) よりダウンロードすることができます。
2. 必ず付属の USB ケーブルを用いて ClariMate を 8 時間以上充電を行ってください。その後、以下の通り ClariMate をセーフモードで立ち上げます。
  1. ボタン4およびボタン3を押したまま、電源ボタンを押します。右下の LED ランプが黄色に点灯するまでボタン4およびボタン3を押したままにします。
  2. ClariMate がセーフモードで立ち上がったら、ClariMate を USB ケーブルで ClariMate アプリケーションに接続します。アプリケーションの「ツール」メニューから、「ファームウェアの更新」を選択します。

## 運指と違う音が出ます。／ ClariMate が演奏する音が間違っています。

現在 ClariMate に読み込まれているトレーニングセットが原因になっている可能性があります。ClariMate アプリケーションの「トレーニングセット」のタブから ClariMate の設定を行い、特定の運指をより良く認識させるか、もしくは工場出荷時のトレーニングセットを読み込ませてください。詳細につきましては、マニュアル内「ClariMate アプリケーション」の章に記載の「トレーニングセット」をご覧ください。

ClariMate はアンプとの併用や周囲の音が大きい環境での使用を目的としてはいないこと、および極端な温度変化は ClariMate の音認識能力に影響を及ぼすおそれがあることにご注意ください。ClariMate とお使いのクラリネットが室温に慣らされた状態であることをご使用前に確認してください。

## 息を入れた感覚が軽いもしくは重くなります。

ClariMate アプリケーションの「リードとブレスのパラメータ」タブでブレスセンサーの感度を下げると、息を入れたときの抵抗感を増やすことができます

息を入れたときの抵抗感を軽くしたい場合、同梱のブレス調整用プラグのうち 1 つを ClariMate のチューブに取り付けます。プラグ D2 がもっとも軽い抵抗感となり、D4 は最も重い抵抗感となります。

詳細につきましては、「はじめに」の章に記載の「ClariMate を使用した吹奏感とブレスセンサー感度の調整」をご覧ください。



## 技術仕様

- 高品質のブレスセンサーにより、ClariMate を装着した場合も、いつも吹いているクラリネットと近い感覚で演奏することができます。
- 高品質のクラリネットシンセサイザーが内蔵されています。
- リチウムイオン電池は最大 4 時間持続します。
- USB-C ポートで充電、MIDI、およびソフトウェアのアップデートを行うことができます。
- アクティブリードの使用により、ご自身のアンブシュアを再現することができます。
- 3.5mm ヘッドフォンジャックより音声出力が可能です。
- 寸法は 5.4cm × 6.9cm × 5.0cm、重量は 68.8g です。

### 互換性のある Apple モデル

• iPhone 13 Pro Max®, iPhone 13 Pro®, iPhone 13®, iPhone 13 mini®, iPhone SE® (第 3 世代) ・ iPad mini® (第 6 世代) ・ iPad® (第 9 世代) ・ iPad Pro® (12.9 インチ) 第 5 世代、iPad Pro (11 インチ) 第 3 世代、iPad Air® (第 5 世代) ・ iPhone 12 Pro Max®, iPhone 12 Pro®, iPhone 12®, iPhone 12 mini® ・ iPhone 11 Pro Max®, iPhone 11 Pro®, iPhone 11®, iPhone SE® (第 2 世代)、iPad Pro (12.9 インチ) 第 3 世代、iPad Pro (11 インチ) ・ iPhone XS Max®, iPhone XS®, iPhone XR® ・ iPhone X®, iPhone 8 Plus®, iPhone 8® ・ iPhone 7 Plus®, iPhone 7® ・ iPhone SE® ・ iPhone 6s Plus®, iPhone 6s®, iPad (第 6 世代)、iPad Pro (9.7 インチ)、iPad (第 5 世代)、iPad Pro (12.9 インチ) 第 1 世代、Apple、iPad、iPad Air、iPad Pro、iPad mini、および iPhone は、アメリカおよびその他の国々における Apple Inc. の登録商標です。

Made for Apple バッジの使用は、アクセサリが特にバッジで特定されている Apple 製品に接続するよう設計されており、Apple 社の性能基準を満たすことが開発者によって認定されていることを意味します。Apple 社は、本デバイスの動作や安全基準および規制基準への準拠については責任を負いません。

## ClariMate の安全性および規制に関する重要情報

**警告:** これらの安全指示の遵守順守を怠ると、火災や感電、怪我、または ClariMate やその他の資産への損傷を引き起こすおそれがあります。ClariMate をご使用になる前に、以下の安全情報を全てお読みください。

ClariMate は丁寧に取り扱いってください。ClariMate には繊細な電子部品が内蔵されており、落下、燃焼、破裂、または破砕により損傷するおそれがあります。損傷した ClariMate は怪我の原因となるおそれがあるためご使用をお控えください。また、埃や砂へ長時間さらさないでください。

**修理:** ClariMate のカバーを外したり、ご自身で ClariMate の修理を試みたりすることはお控えください。ClariMate の損傷や、怪我につながる可能性があります。ClariMate の損傷や故障が発生した場合は、株式会社 ビュッフェ・クランポン・ジャパンの ClariMate ヘルプデスク、またはビュッフェ・クランポン・ジャパン公式特約店へご連絡ください。ビュッフェ・クランポン・ジャパン公式特約店のリストについては、〈ビュッフェ・クランポン〉のウェブサイトをご覧ください。

**充電:** ClariMate の充電には、付属の USB-C to USB-A ケーブルをお使いください。それ以外の USB ケーブルやアダプタは適用可能な安全基準を満たしていないおそれがあり、死亡や負傷の危険性が生じる場合があります。損傷したケーブルや充電器の使用、または湿気のある場所での充電は火災、感電、負傷、または ClariMate やその他資産の損傷を引き起こすおそれがあります。

以下の場所は ClariMate の使用や保管に適していません。

- 温度が極端な場所 (密閉された車内での直射日光、暖房ダクトの付近、発熱機器の上など)
- 湿気のある場所 (浴室、洗面所、濡れた床の上など)
- 蒸気や煙にさらされる場所
- 塩分にさらされる場所
- 雨にさらされる場所
- ほこりや砂の多い場所
- 重度の振動や揺れのある場所
- 換気が不十分な場所

聴覚の損傷を防ぐため、大音量で長時間音を聴かないでください。長時間大音調で ClariMate を使用すると、難聴を引き起こすおそれがあります。難聴や耳鳴りに見舞われた場合は、直ちに使用を中止し専門医の診察を受けてください。

ClariMate の正しい使用（正常に吹いた場合など）による唾液は動作品質に影響はありませんが、そのほかの異物や液体が ClariMate 内部に入らないようにしてください。また、液体の入った容器（花瓶など）を絶対に ClariMate の上に置かないでください。

異物（可燃物や硬貨、配線など）や液体（水やジュースなど）が製品内部に入らないようにしてください。短絡（ショート）、誤作動、またはその他の故障の原因となるおそれがあります。

異常や故障が発生した場合は、ClariMate の電源を切ってください。次の場合は、直ちに電源を切り、株式会社 ビュッフェ・クランボン・ジャパンの ClariMate ヘルプデスク、またはビュッフェ・クランボン・ジャパン公式特約店へご連絡のうえ修理を行ってください。

- 煙や異臭が発生した場合
- 物が ClariMate の中に落ちた場合や、ClariMate の上に液体がこぼれた場合
- ClariMate が雨（もしくは他の液体）に濡れた場合
- ClariMate が明らかに正常に作動しない場合や、性能に明らかな変化がある場合

ビュッフェ・クランボン・ジャパン公式特約店のリストについては、〈ビュッフェ・クランボン〉のウェブサイトをご覧ください。

小さいお子さまが怪我をしないようご注意ください。お子さまのいる場所で ClariMate をお使いになる場合やお子さまが ClariMate をお使いになる場合は、必ず大人がそばにつき、監視・監督を行ってください。

落下させたり強い衝撃を与えたりしないでください。損傷や故障の危険性が生じます。

内蔵のバッテリーは丁寧に扱ってください。不適切な使用を行った場合は、液漏れや過熱、燃焼、爆発などのおそれがあります。

ClariMate を使用されるにあたり、以下の点にご注意ください。

- 加熱や分解をしない。火や水の中に入れてない。
- 乾電池を充電しない。
- 日光、火、その他の高温源にさらさない。
- 付属の USB ケーブルのみを使用する。

**全ての電源コードおよびケーブルは、絡まないように使用してください。**

ケーブルにつまずいたり ClariMate が落下または横転したりした場合は、怪我につながるおそれがあります。

**ClariMate の上に乗ったり、重い物を置いたりしないでください。**

怪我や ClariMate 損傷のおそれがあります。

**ClariMate を移動させる前に、全てのコードや USB ケーブルを抜いてください。**

ClariMate を移動させる前に全てのケーブルを外すことを怠った場合、損傷や故障のおそれがあります。

**配置：**

- パワーアンプ（または大型電源トランスを内蔵したその他機器）の付近で ClariMate を使用すると、ハム音（低周波ノイズ）が発生する場合があります。この問題を軽減するには、ClariMate の向きを変えるか、干渉源から離れた場所へ移動させてください。
- ClariMate は、ラジオやテレビの受信に干渉する場合があります。そのような受信機の付近では ClariMate を使用しないでください。
- 携帯電話などの無線通信機器を ClariMate の付近で使用すると、ノイズが発生する場合があります。このようなノイズは、電話を受けたり通話が開始されたりした場合や、会話中に発生する可能性があります。このような問題が発生した場合は、無線機器が ClariMate から遠く離れるよう移動させるか、電源を切ってください。
- 温度や湿度が大きく異なる場所に移動させた場合は、水滴（結露）が ClariMate 本体の内部で発生する場合があります。この条件下で ClariMate をお使いになると、損傷や故障のおそれがあります。そのため、ClariMate をお使いになる前に、結露が完全に蒸発するまで ClariMate を数時間置いておいてください。
- 液体の入った容器などを ClariMate の上に置かないでください。また、ClariMate 表面に液体がこぼれた場合は、柔らかい乾いた布ですぐに拭いてください。

## メンテナンス:

- 変色や変形の可能性を避けるため、ベンジン、シンナ、アルコール、およびいかなる種類の溶剤も使用しないでください。

## 修理およびデータ:

- ClariMate を修理に出す前に、ClariMate 内に保存されているデータのバックアップをお取りになるか、必要な情報を書き留めてください。当社で修理を行う際は ClariMate に保存されているデータを保護するよう最大限の努力をいたしますが、メモリ部が物理的な損傷を受けている場合など一部の場においては保存されているコンテンツの再生が不可能な場合があります。喪失された保存コンテンツの再生に関して、株式会社 ビュッフェ・クランポン・ジャパンは一切の責任を負いかねます。
- Bluetooth® のマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. 社の所有する登録商標です。Buffet Crampon SAS による当該マークの使用は、ライセンスを取得しています。
- 本マニュアルに記載されている社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

## Bluetooth について

Bluetooth は 10m (33ft) の範囲内でのデバイス間無線通信技術であり、2.4GHz の周波数帯が使用されます。

### Bluetooth 通信の取り扱いについて

- Bluetooth 対応デバイスが用いる 2.4GHz 帯域は、多くの種類の機器が共有している無線帯域です。Bluetooth 対応デバイスでは同じ無線帯域を用いて他のコンポーネントへの影響を最小限に抑える技術が採用されている一方で、そのような影響により通信の速度や距離が減少したり、場合によっては通信を妨げたりする場合があります。
- 信号伝達速度および通信可能距離は、通信機器、障害物の有無、無線状況、および機器の種類に応じて距離によって異なります。
- 株式会社 ビュッフェ・クランポン・ジャパンは、このユニットと Bluetooth 機能対応デバイスとの間での全ての無線接続に対し保証はいたしません。

### 追加注意事項:

- ClariMate 内に保存されているデータは、機器の故障、誤操作などにより失われる場合があります。取返しのつかないデータ喪失から保護するために、ClariMate 内に保存されているデータのバックアップを定期的に取り習慣をつけてください。
- 喪失された保存コンテンツの再生に関して、株式会社 ビュッフェ・クランポン・ジャパンは一切の責任を負いかねます。
- ClariMate のボタン、ジャック、コネクタをお使いになる際は十分に注意してください。雑な取り扱いは故障の原因となります。
- 全てのケーブルを抜く際は、コネクタ自体を持つようにし、絶対にケーブルを引っ張らないでください。こうすることで短絡(ショート) やケーブルの内部要素の損傷を防ぐことができます。

### 高周波放出についての注意

- 次の行動は法律で罰せられる可能性があります。
- 本デバイスを分解または改造すること
- 本製品背面に貼付されている認証ラベルを剥がすこと
- 本デバイスを購入国以外の国で使用すること
- 本製品は心臓ペースメーカーが設置されている場所から 22cm (8-11/16") 以上離してください。ペースメーカーの動作に影響を及ぼす危険性があります。
- 無線周波数(運転周波数) .....2,402MHz ~ 2,480MHz
- 最大出力(EIRP) .....4.0dBm (2.5mW)

## 日本

この機器には、日本市場での使用が認められている送信機モジュールが搭載されています。

技術基準適合証明番号 210-193220